

## ＜原子力規制委員会における民間規格の活用について＞

- 許認可申請図書において引用される学協会規格について、性能規定化された規制要求に対する容認可能な実施方法としてあらかじめ評価しておくことは、効率的な審査の実施に資すると考えられる。
- 学協会規格を含む民間規格については、その策定プロセス等によらず、規定内容が技術的に妥当であるかという観点から、原子力規制委員会として技術評価を行う。
- 原子力規制庁職員が、学協会等における規格策定のための委員会に参加する場合は、規格策定を行う委員ではない立場とする。その際、必要に応じ、基準解釈文書における民間規格の引用の必要性、技術評価の計画等について情報を提供する。

## ＜IAEA安全基準の改訂＞

- IAEAは、福島第一原子力発電所事故の教訓を反映し、以下の5件の安全要件文書改訂版を本年2月に発行。
  - ✓ GSR Part 1 「政府、法律及び規制の安全に対する枠組み」
  - ✓ NS-R-3 「原子炉等施設の立地評価」
  - ✓ SSR-2/1 「原子力発電所の安全：設計」
  - ✓ SSR-2/2 「原子力発電所の安全：試運転及び運転」
  - ✓ GSR Part 4 「施設と活動に対する安全評価」

## ＜IAEA 総合規制評価サービス (IRRS) において明らかになった課題への対応＞

- 基準規則、規則の解釈及びガイド等について、適宜、評価・見直しを行う際の基本方針、スクリーニング手法、プライオリティ付け及び体制を明確化した文書を作成し、順次、見直しを実施。
  - ✓ 旧組織(旧原子力安全・保安院、旧原子力安全委員会)からの指針、内部規定類の見直し計画の策定及び見直し
  - ✓ 学協会規格の活用のあり方、学協会規格の見直し計画の策定及び見直し
  - ✓ IAEA、OECD/NEA等の国際知見を反映するためのプロセスの策定